

2023 年度日本獣医がん学会 定期社員総会（第 1 回）議事録

＊会議回数については積算回数に整えて追って訂正いたします。

開催日 2023 年 7 月 2 日（日） 13:00-14:20

場 所 ホテルニューオータニ 東京 芙蓉東

出席者：代議員（五十音順）：別紙

議決権行使書提出：なし

委任：11 名（議長一任）

欠席：別紙

理事（議決権なし）：石田卓夫、藤田道郎、杉山大樹、皆上大吾、武信行紀、高橋雅、浅野和之、金井詠一、児玉和仁、小林哲也、井上 明、高木哲、辻本元、中川貴之、細谷謙次（15 人）

監事：三宅龍二・水上浩一（2 人）

議事録署名人：小山田和央、長谷往明

議事：

審議事項

第 1 号議案：2022 年度委員会事業報告及び収支計算報告

1) 各委員会等事業報告（資料 1）

2) 2022 年度収支計算報告（資料 2）

第 2 号議案：2023 年度修正予算案（資料 3）

第 3 号議案：研究助成制度の設立について（資料 4）

第 4 号議案：臨床研究委員会の予算に関して（資料 5）

第 5 号議案：定款の変更に関して

第 6 号議案：謝礼規程の変更に関して

第 7 号議案：代議員選出細則変更に関して

第 8 号議案：2024 年 1 月の認定医 2 種試験対応講習会のオンライン開催に関して

第 9 号議案：学会抄録の PDF 配布、及び印刷物配布の廃止に関して

第 10 号議案：WVCC 参加費に関して

第 11 号議案：投稿規程変更に関して

第 12 号議案：次期理事名簿の承認に関して

第 13 号議案：選挙選出代議員および総会選出代議員（理事会推薦による）の承認に関して

その他

報告事項

その他

以上について、議長を石田会長、進行を杉山理事が務め、定時総会の定足数を満たすことを確認して審議を行ったので議事録に記録する。

決議事項

第 1 号議案：2022 年度事業報告並びに収支計算報告

1) 各委員会等事業報告（資料 1）

（2023 年 1 月の臨時社員総会でそれまでの事業報告は済んでいる。それ以降の活動に関してのみ報告する。）

学会雑誌編集委員会	： 藤田 道郎 担当理事（資料 1-1）
獣医腫瘍科認定医認定委員会	： 皆上 大吾 担当理事
企画委員会	： 武信 行紀 担当理事（資料 1-2）
内科療法委員会	： 高橋 雅 担当理事
外科療法委員会	： 浅野 和之 担当理事
放射線療法委員会	： 金井 詠一 担当理事
病理委員会	： 児玉 和仁 担当理事
臨床研究委員会	： 中川 貴之 担当理事（資料 1-3）
JONCOL 編集委員会	： 井上 明 担当理事（資料 1-4）
WVCC・国際情報委員会	： 小林 哲也 担当理事（資料 1-5）
渉外広報・経理担当	： 杉山 大樹 担当理事

2) 2022 年収支計算報告（資料 2-1）：杉山大樹

第 1 号議案は賛成多数により承認された。

第8期

財 務 諸 表

自：令和 4年 5月 1日
至：令和 5年 4月30日

一般社団法人日本獣医がん学会

会長 石田 卓夫

法 人 名：一般社団法人日本獣医がん学会

貸借対照表

令和 5年 4月 30日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	104,756,072	100,930,978	3,825,094
未収金	50,000	120,400	△ 70,400
未収還付消費税等	336,100	0	336,100
前払金	1,433,410	1,218,470	214,940
流動資産合計	106,575,582	102,269,848	4,305,734
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	106,575,582	102,269,848	4,305,734
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,110,686	0	3,110,686
未払消費税等	0	925,000	△ 925,000
前受金	381,820	1,200,000	△ 818,180
流動負債合計	3,492,506	2,125,000	1,367,506
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,492,506	2,125,000	1,367,506
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	103,083,076	100,144,848	2,938,228
正味財産合計	103,083,076	100,144,848	2,938,228
負債及び正味財産合計	106,575,582	102,269,848	4,305,734

法人名：一般社団法人日本獣医がん学会

正味財産増減計算書

令和 4年 5月 1日 から令和 5年 4月 30日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	27,917,111	28,095,165	△ 178,054
準会員受取会費	35,000	15,000	20,000
賛助会員受取会費	450,000	600,000	△ 150,000
受取会費計	28,402,111	28,710,165	△ 308,054
事業収益			
参加費収益	28,444,000	22,829,000	5,615,000
展示・広告収益	4,266,840	1,587,300	2,679,540
認定医手帳販売収益	342,000	135,000	207,000
要旨販売収益	6,000	0	6,000
懇親会費収益	175,000	0	175,000
受診料収益	5,995,660	6,128,300	△ 132,640
登録料収益	315,000	635,000	△ 320,000
更新料収益	360,000	916,000	△ 556,000
事業収益計	39,904,500	32,230,600	7,673,900
雑収益			
雑収益	59,560	59,220	340
経常収益計	68,366,171	60,999,985	7,366,186
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	1,212,301	34,572	1,177,729
通信運搬費	904,372	918,049	△ 13,677
消耗什器備品費	7,300	116,600	△ 109,300
消耗品費	141,659	241,885	△ 100,226
印刷製本費	5,162,302	4,471,137	691,165
賃借料	16,419,070	8,209,110	8,209,960
諸謝金	6,687,366	4,688,720	1,998,646
租税公課	378,900	1,430,000	△ 1,051,100
広告宣伝費	150,000	0	150,000
委託費	19,652,023	7,740,047	11,911,976
雑費	1,263,054	937,581	325,473
事業費計	51,978,347	28,787,701	23,190,646
管理費			
会議費	7,814	3,960	3,854
交際費	92,880	35,120	57,760
旅費交通費	5,960	2,506	3,454
通信運搬費	297,215	535,599	△ 238,384
消耗什器備品費	39,135	8,833	30,302
消耗品費	147,627	96,691	50,936
印刷製本費	2,750,385	2,606,548	143,837
賃借料	555,190	572,790	△ 17,600
諸謝金	1,605,120	1,061,500	543,620
租税公課	0	1,000	△ 1,000
支払寄付金	0	300,000	△ 300,000
委託費	7,757,420	5,702,376	2,055,044
雑費	190,850	38,067	152,783
管理費計	13,449,596	10,964,990	2,484,606
経常費用計	65,427,943	39,752,691	25,675,252
評価損益等調整前当期経常増減額	2,938,228	21,247,294	△ 18,309,066
当期経常増減額	2,938,228	21,247,294	△ 18,309,066
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,938,228	21,247,294	△ 18,309,066
当期一般正味財産増減額	2,938,228	21,247,294	△ 18,309,066
一般正味財産期首残高	100,144,848	78,897,554	21,247,294
一般正味財産期末残高	103,083,076	100,144,848	2,938,228
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	103,083,076	100,144,848	2,938,228

法人名：一般社団法人日本獣医がん学会

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

13. 関連当事者との取引の内容

該当なし

14. その他

該当なし

監査報告 2 頁追加する

第2号議案：2023年度修正予算案（資料3）：杉山大樹

2022（令和4）年度収支決算の確定を受け、2023（令和5）年1月の臨時社員総会で承認を得られた予算案を修正した。

法人名：一般社団法人日本獣医がん学会					
正味財産増減計算書					
令和 4年 5月 1日 から令和 5年 4月 30日 まで					
(単位：円)					
科 目	2023年度予算案	2022年度決算額	2022年度決算見込み額	2022年度補正予算案	2021年度決算額
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費					
正会員受取会費	26,000,000	27,917,111	26,000,000	25,000,000	28,095,165
準会員受取会費	10,000	35,000	10,000	10,000	15,000
賛助会員受取会費	650,000	450,000	600,000	650,000	600,000
受取会費計	26,660,000	28,402,111	26,610,000	25,660,000	28,710,165
事業収益					
参加費収益	36,000,000	28,444,000	24,000,000	20,000,000	22,829,000
展示・広告収益	5,000,000	4,266,840	2,000,000	2,000,000	1,587,300
認定医手帳販売収益	200,000	342,000	200,000	200,000	135,000
要旨販売収益	0	6,000	0	0	0
懇親会費収益	0	175,000	0	0	0
受診料収益	5,000,000	5,995,660	5,000,000	5,000,000	6,128,300
登録料・更新料収益	240,000	675,000	240,000	240,000	1,551,000
事業収益計	46,440,000	39,904,500	31,440,000	27,440,000	32,230,600
受取補助金等					
受取地方公共団体助成金	0		0	0	0
雑収益					
受取利息	0		0	0	0
雑収益	200,000	59,560	200,000	200,000	59,220
雑収益計	200,000	59,560	200,000	200,000	59,220
経常収益計	73,300,000	68,366,171	58,250,000	53,300,000	60,999,985
(2) 経常費用					
事業費					
臨時雇賃金	200,000		200,000	200,000	0
旅費交通費	12,400,000	1,212,301	400,000	400,000	34,572
通信運搬費	850,000	904,372	850,000	850,000	918,049
消耗什器備品費	200,000	7,300	200,000	200,000	116,600
消耗品費	200,000	141,659	200,000	200,000	241,885
印刷製本費	6,000,000	5,162,302	4,500,000	3,500,000	4,471,137
賃借料	32,000,000	16,419,070	16,000,000	16,000,000	8,209,110
諸謝金	6,000,000	6,687,366	4,000,000	3,500,000	4,688,720
租税公課	0	378,900	0	0	1,430,000
委託費	8,000,000	19,652,023	10,000,000	8,000,000	7,740,047
宣伝広告費		150,000			
WOC開催費	300,000		300,000	300,000	
研究支援	5,000,000		5,000,000	5,000,000	
雑費	200,000	1,263,054	200,000	200,000	937,581
事業費計	71,350,000	51,978,347	41,850,000	38,350,000	28,787,701
管理費					
会議費	50,000	7,814	50,000	50,000	3,960
交際費	50,000	92,880	50,000	50,000	35,120
旅費交通費	40,000	5,960	40,000	40,000	2,506
通信運搬費	550,000	297,215	550,000	550,000	535,599
消耗什器備品費	300,000	39,135	300,000	300,000	8,833
消耗品費	500,000	147,627	500,000	500,000	96,691
印刷製本費	7,000,000	2,750,385	7,000,000	7,000,000	2,606,548
賃借料	600,000	555,190	600,000	600,000	572,790
諸謝金	1,500,000	1,605,120	1,500,000	1,500,000	1,061,500
租税公課			0		1,000
支払寄付金	300,000		300,000	300,000	300,000
委託費	20,000,000	7,757,420	7,500,000	7,500,000	5,702,376
雑費	50,000	190,850	50,000	50,000	38,067
管理費計	30,940,000	13,449,596	18,440,000	18,440,000	10,964,990
経常費用計	102,290,000	65,427,943	60,290,000	56,790,000	39,752,691
評価損益等調整前当期経常増減額	(28,990,000)	2,938,228	(2,040,000)	(3,490,000)	21,247,294
当期経常増減額	(28,990,000)	2,938,228	(2,040,000)	(3,490,000)	21,247,294
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0		0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0		0	0	0
当期経常外増減額	0		0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	(28,990,000)	2,938,228	(2,040,000)	(3,490,000)	21,247,294
当期一般正味財産増減額	(28,990,000)	2,938,228	(2,040,000)	(3,490,000)	21,247,294
一般正味財産期首残高	103,083,076	100,144,848	100,144,848	100,144,848	78,897,554
一般正味財産期末残高	74,093,076	103,083,076	98,104,848	96,654,848	100,144,848
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高					
III 正味財産期末残高	74,093,076	103,083,076	98,104,848	96,654,848	100,144,848

第2号議案は賛成多数により承認された。

第3号議案：研究助成制度の設立について（資料4）：臨床研究委員長 中川貴之

本会において、本学会員による獣医腫瘍学に関する研究に対する研究助成制度の設立を提案する。

獣医腫瘍学に関する研究に対して研究費の助成を行うことは、本会の目指す我が国における獣医腫瘍診断・治療学の発展と推進への寄与に資するものであり、定款第3条に掲げられている腫瘍学に関する臨床研究の実施およびそれに附帯または関連する事業の一つたりうるものとする。さらに研究費の助成だけでなく希望者にはメンター制度を提供し、研究の円滑な推進だけでなくその成果公表までを本会が補助することで、獣医腫瘍診断・治療学をさらに発展、推進させるものとする。

〔研究費助成制度〕

日本獣医がん学会の学会員を対象に、優れた獣医がん研究に対し、

- ・臨床研究部門として年間0-2件、1件上限25万円（研究期間2年間）
 - ・基礎研究部門として年間0-1件、1件上限100万円（研究期間2年間）の研究助成を行う。
- 審査員は大学教員や研究歴を有する獣医師（博士取得者など）とし、審査員らによる研究助成選考委員会にて助成対象を決定する。

採択者には学術集会における贈呈式での贈呈と、採択者発表枠としての発表の場を設ける。研究期間および翌年までは毎年1回、計画、進捗、成果を学会発表していただくが、従来の学会発表よりも研究室での進捗発表会やデータ会のような、研究成果が論文投稿につながるまでの議論を行う場とし、学会が採択された研究や研究者を見守り育てる形の研究助成とする。

〔メンター制度〕

さらなる研究者育成の制度として、研究助成に採択された研究者の希望により、学会からメンターをつけて研究成果が国際誌への論文投稿までサポートする制度を設ける。メンターは学会員のうち、博士号または米国専門医取得者ないしアジア獣医専門医取得者とし、委員会内で公募を行い研究助成選考委員会で決定する。メンターの研究支援に対する謝金として15万円/年を支出し、Pubmed採録英文雑誌への投稿論文が採択された場合には15万円を支給する。論文投稿においてメンターが共著者として加わる際は、そのメンターの所属は日本獣医がん学会臨床研究委員会とする。

承認いただける場合、早ければ2023年度内に募集、選考を行い、2024年度から助成を開始したい。

水野：臨床研究の25万円の根拠は？上限を上げるのはどうか？全体的にはとても良い制度だと思う。

中川：普段の臨床の中で懐古的研究とすれば25万円程度と考えたが、年間予算制限もある。

石田：助成額はその都度決定するとして、議案の臨床研究部門の上限100万円に変更する。

林宝：大学人でなくても研究に取り組みやすい制度に思う。申請方法の詳細は？

中川：申請書で研究内容を

林宝：臨床獣医師が研究する場合は倫理委員会がないことでリジェクトを受けたことがあるが、学会が倫理委員会を作ることはできるか？

中川：臨床研究のプロジェクトの一つで倫理委員会を作るかどうか、メンター制度により大学の倫理委員会を通して連携した研究に取り組んでいただくなどが事前のマッチングが考えられる。

小林：倫理委員会をがんセンターでつくる医師、弁護士等を集めて予算がかかる。

投稿費用に関する臨床研究とは別に研究とは別に予算を活用する仕組みを考えてみるのも一案。英語のブラッシュアップと統計（15万円程度）もサポート依頼先がある。

杉山：本学会の会員は、大学以外の臨床獣医師が多いのでその方々に納得いただける仕組みを考える必要があると思う。

第3号議案は、議案の臨床研究部門の上限100万円に変更により理事、代議員の賛成多数により承認された。

第4号議案：臨床研究委員会の予算に関して（資料5）

会長 石田卓夫、副会長 藤田道郎・杉山大樹

執行部（会長及び副会長）に対し、臨床研究委員長の中川貴之理事から臨床研究委員会の予算に関し提案があった。内容としては、臨床研究基盤形成は、腫瘍症例登録データベースの作成ならびに運用も含み、単年度ではなく複数年度にかかる事業のためある程度の期間（少なくとも3-5年間程度）は昨年度と同程度の予算の確約が必要だというものだ。協議を重ねた結果、大きな金額ではあるが本会の運営状況からは十分可能な支出であり、この基盤形成は本会の大きな財産になり得ると判断した。中川委員長にこの事業への継続的なご助力を要請するとともに、執行部からの発議として以下の提案を提出する。

以下、臨床研究委員長中川貴之理事からの提案である

「臨床研究委員会において本会主導での臨床研究基盤形成や、研究発表に対するアワード表彰、研究費の助成などの活動を行っていく予定である。
現在、臨床研究基盤形成、アワード表彰制度の設立を行っており、研究助成および、研究領域拡大に向けた医工獣医学連携などの事業の準備を進めている。
当該委員会の活動予算について、2022年度の予算として500万円をご承認いただいているが、これらの事業を継続的に推進していくために、今後数年間も同程度の予算を確保していただくことをお願いしたく、提案する。」

以上、中川理事からの提案である。

第4号議案は、賛成多数により承認された。

第5号議案：定款の変更に関して：杉山大樹

①、②の2ヶ所の定款変更を提案する、理由は以下のとおりである

①臨床研究委員会の設置により今後本会主導での臨床研究や、研究発表のアワード、研究助成が行われる予定である。そのことを定款でも明確にするために変更すべきと判断した。

現在

(目的)

第3条 当法人は、我が国における獣医腫瘍診断・治療学の発展と推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 会員の研究発表会、学術講演会、技術講習会等の開催
- (2) 機関誌その他の出版物の刊行
- (3) 内外の関連学術団体との連絡提携
- (4) 腫瘍学に関する臨床研究の実施
- (5) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

変更案

→(4)腫瘍学に関する臨床研究の実施、及び助成

②業務執行理事の定数を20名に変更することを提案する。

【現在】

(役員等)

第23条 当法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、3名以内を副会長とすることができる。

3 理事のうち25名以内を業務執行理事とする。

【変更案】

→(役員等)

第23条 当法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、3名以内を副会長とすることができる。

3 理事のうち20名以内を業務執行理事とする。

第5号議案は、①賛成多数により承認された。②は賛成多数により承認された。

第 6 号議案：謝礼規程の変更に関して：杉山大樹

アワード審査員項目の新設、社会情勢の変化による金額変更などにより添付資料のように変更することを提案する。

現在	謝金（手取り）		変更案	謝金（手取り）
メインシンポジウム演者	40000	→	シンポジウム演者 （メイン、委員会）	30000
メインシンポジウム座長	20000		シンポジウム座長 （メイン、委員会）	20000
委員会シンポジウム演者	20000		座長（一般口演、症 例検討）	20000
委員会シンポジウム座長	15000		審査員（新設）	50000
一般口演座長	15000			
症例検討座長	20000			

原田：ボリュームによって変えた方が良いのではないかな？

杉山：40 分 30,000 円を基準に考えた。長くなったら増やすことはできる。

藤田：画像診断学会では 1 時間当たりで算出している。例えば 30 分の基準。

石田：1 単位 40 分 30,000 円を基準として、30 分、50 分は 30,000 円でもよく、倍になったら金額を倍にしたらどうか？

古川：審査員の交通費や宿泊費の規程を作る必要はないかな？

杉山：審査員にもシンポジウム等と同じように規程がある。

第 6 号議案は賛成多数により承認された。

第7号議案：代議員選出細則変更に関して（2025年の選挙から適応）：杉山大樹
今後のWEB選挙の実施などを見据え、代議員選出細則の変更①～④を提案する。

①第2条（選挙管理委員会）

【現在】

2) 選挙管理委員会の構成は、非改選の現職理事1名、および当法人の事務局1名とし、会長が委嘱する。

【変更案】

2) 選挙管理委員会の構成は、現職理事1名、および当法人の事務局1名とし、会長が委嘱する。

②第9条 立候補の届出

【現在】

代議員選挙に立候補する者は、所定の立候補届出書に必要事項記載のうえ、選挙管理委員会宛に郵送にて選挙管理委員会の指定する期日までに届け出るものとする。

【変更案】

代議員選挙に立候補する者は、所定の様式（WEBのフォームや書式など）に則り、選挙管理委員会の指定する期日までに届け出るものとする。

③第10条（候補者の公示）

【現在】

第10条（候補者の公示）

選挙管理委員会は、立候補者の資格審査を行い、立候補者名簿を作成し、投票期間の初日の14日前までにこれを公示のうえ、選挙権を有する正会員に対し立候補者名簿に投票用紙を添えて送付する。

【変更案】

第10条（選挙の公示）

選挙管理委員会は、投票期間の初日の14日前までに選挙の実施を公示する。

④第11条（投票方法）

【現在】

1) 代議員選挙の投票は、郵送法により行う

2) 投票は指定された記載方式（所定人数3名）に従い、無記名投票とする

3) 当法人の事務局は、投票期間中に郵送された投票用紙を受理し、開票日まで厳重に保管受理しなければならない

【変更案】

1) 代議員選挙の投票は、郵送やWEBなどで行う

2) 投票は指定された投票方式に従い、無記名投票とする

※3) は削除

第7号議案は、賛成多数により承認された。

第 8 号議案：2024 年 1 月の認定医Ⅱ種試験対応講習会のオンライン開催に関して：杉山大樹

第 29 回学会は世界獣医がん学会に合わせて行われるため、その際の認定医講習会開催方法が懸案であった。WVCC の会期中に同会場内で行う案、WVCC 会期の前後で行う案、全く別の日程で別会場で行う案、全く別の日程でオンラインで行う案などが検討されていたが、以下の理由から、全く別の日程でオンラインで行う案が妥当と判断した。

- ・ WVCC 会期中は WVCC のプログラムに参加してほしい
- ・ WVCC 前後での開催は、講演者やスタッフの確保が難しい（WVCC と連続した日程で休みを取ることが難しい）
- ・ 受講希望者の中には働き初めの若い獣医師も多く、WVCC の参加費が負担になる可能性がある
- ・ 別の日程で行う場合、会場の実施よりもオンラインの方は運営が簡便である
- ・ 別の日程でどこかに会場を借りて行うことは、WVCC の準備などを考えると運営に無理がある

日程

2023 年 12 月 1 日までに講演動画の提出

2023 年 12 月 14 日(木)から 2024 年 1 月 15 日(月)配信

第 8 号議案は、賛成多数により承認された。

第 9 号議案：学会抄録の PDF 配布、及び冊子配布の廃止に関して：杉山大樹

社会情勢に鑑み、本会もペーパーレス化を進めるべきと判断した。今後は学会講演要旨集の冊子での配布を終了し PDF 等のデジタルデータでの配布とする。また、アプリの利用によるさらなる利便性の向上を図っていきたい。

杉山：メリットは紙の冊子を在庫しなくて良い、利便性はハンドアウトを見るためのアプリやシステムを活用し利用者の不便に対策したい。

長田：意見には賛成。前もってダウンロードしなかった方のために、フリーWi-Fi を使えるようにして欲しい。

杉山：対応する。

第 9 号議案は、賛成多数により承認された。

第 10 号議案：WVCC 参加費に関して：杉山大樹

WVCC の収支は、兼ねてから会長が説明しているように赤字となる見通しであり、そのために数年かけて資金を蓄えている。そのため参加費は収支予測に基づいて決めるのではなく、一般的な世界大会の参加費を参考に検討した。

【WVCC 参加費（案）】

会員早期事前登録 50,000 円

会員一般登録 60,000 円

非会員早期事前登録 70,000 円

非会員一般登録 80,000 円

学生早期事前登録 40,000 円

学生一般登録 50,000 円

ナイトセミナー早期事前登録 8,000 円

ナイトセミナー一般登録 10,000 円

（上記会員とは JVCS, VCS, ESVONC, ABROVET, AMONCOVET, JSVAS, JSVI, JCVP）

なお、日本獣医がん学会会員には以下の補助をする。

1) JVCS 会員 10,000 円の補助

2) 2024 年 1 月開催予定の認定医講習会参加者にはさらに 10,000 円の補助

小林：本学会会員には早期登録をしてもらえば一番安く参加できる。その他日本の関連団体にも会員価格での参加可能としている。

長田：2) の講習会は有料であるなら、ほぼ相殺ということか？

杉山：その通りである。

藤田：JSVI の頭文字が変わったので後ほどお知らせする。

三宅：関連団体にも補助があるのか？

杉山：補助は日本獣医がん学会の会員のみである。

第 10 号議案は、賛成多数により承認された。

現在の学会雑誌投稿規程では、参考文献に対する制限の記載がない。これまでも商業誌は参考文献として認めていなかったが、これを明文化するために以下のような加筆変更を提案する。

現在

原稿の第 1 ページには投稿区分（原著、短報等）、和文表題、著者名、英文表題、英文著者名（英文原稿では順が逆になる）、共著者の E メールアドレスを記入する。
ついで、下半分に著者の所属機関および所在地（郵便番号を含む）を和文、英文で記入する。さらに連絡先として、連絡責任者名および所在地と、電話・メールアドレスを明記する。
次ページには英文 Abstract（原著約 200 語、短報約 100 語）と Key word（英語）（原著、短報とも 5 語以内、ABC 順で全て小文字）を記入する。
改ページしたら、原著では、「はじめに、材料と方法、成績、考察、参考文献」の順に記載する。
短報では参考文献を除いてこのように項目分けをしない。また英文原稿においては原著、短報ともに最後に和文要約（200 字程度）を記載すること。総説、技術講座等ではこのような様式をとる必要はない。

変更案（赤字が加筆部分）

原稿の第 1 ページには投稿区分（原著、短報等）、和文表題、著者名、英文表題、英文著者名（英文原稿では順が逆になる）、共著者の E メールアドレスを記入する。
ついで、下半分に著者の所属機関および所在地（郵便番号を含む）を和文、英文で記入する。さらに連絡先として、連絡責任者名および所在地と、電話・メールアドレスを明記する。
次ページには英文 Abstract（原著約 200 語、短報約 100 語）と Key word（英語）（原著、短報とも 5 語以内、ABC 順で全て小文字）を記入する。
改ページしたら、原著では、「はじめに、材料と方法、成績、考察、参考文献」の順に記載する。
商業誌は参考文献に認めない。
短報では参考文献を除いてこのように項目分けをしない。また英文原稿においては原著、短報ともに最後に和文要約（200 字程度）を記載すること。総説、技術講座等ではこのような様式をとる必要はない。

第 11 号議案は、賛成多数により承認された。

第 12 号議案 次期理事名簿の承認に関して：杉山大樹

本年 5 月 1 日～5 月 22 日にかけて理事選挙が行われ、下記 15 名が当選した。
この 15 名を次期理事名簿として提出する。

2023年度理事選出結果(五十音順)

ご氏名	所属
皆上 大吾	東京農工大学
浅野 和之	日本大学
石田 卓夫	赤坂動物病院
井上 明	麻布大学
廉澤 剛	日本小動物医療センター
金井 詠一	麻布大学
児玉 和仁	児玉どうぶつ病院
小林 哲也	日本小動物がんセンター
杉山 大樹	ファミリー動物病院
高橋 雅	鹿児島大学
武信 行紀	浜松家畜病院
中川 貴之	東京大学
藤田 道郎	日本獣医生命科学大学
古川 敬之	日本動物高度医療センター 名古屋
細谷 謙次	北海道大学

(五十音順・敬称略)

第 12 号議案は、賛成多数により承認された。

第 13 号議案 選挙選出代議員および総会選出代議員（理事会推薦による）の承認に関して：
杉山大樹

2023 年 6 月に代議員選出細則に則り、選挙選出代議員選出選挙が行われ、以下の 39 名が当選した。

人数	氏名	都道府県	所属先
1	池田 彬人	東京都	日本小動物医療センター
2	石垣 恭平	茨城県	どうぶつ病院シン・ベット
3	石垣 久美子	神奈川	日本大学
4	市川 美佳	神奈川県	日本動物高度医療センター 川崎本院
5	入江 充洋	香川県	四国動物医療センター
6	大川 雄一郎	神奈川県	さがみ総合どうぶつ医療センター
7	大参 亜紀	東京都	東京大学附属動物医療センター
8	奥田 知奈美	東京都	日本動物医療センター
9	小山田 和央	大阪府	松原動物病院
10	加藤 大貴	東京都	東京大学
11	木村 太郎	東京都	動物外科診療室 東京
12	児玉 恵子	福岡県	児玉どうぶつ病院
13	佐々木 悠	神奈川県	DVMs どうぶつ医療センター横浜
14	諏訪 晃久	福岡県	すわ動物病院
15	高橋 朋子	神奈川県	日本大学
16	田川 道人	愛媛県	岡山理科大学
17	武田 晴央	東京都	ゼファー動物病院
18	谷 浩由輝	神奈川県	日本大学
19	塚田 祐介	岡山	フリーランス
20	富安 博隆	東京都	東京大学
21	長田 雅昭	兵庫県	神戸ピア動物病院
22	西戸 達郎	大阪府	ファール動物医療センター
23	野上 英	東京都	富士フイルムVETシステムズ株式会社
24	野口 俊助	大阪府	大阪公立大学
25	朴 永泰	東京都	Ve. C.自由が丘動物医療センター
26	橋本 砂輝	福岡県	砂輝動物病院
27	橋本 直幸	岡山県	倉敷芸術科学大学
28	長谷 往明	千葉県	はせ動物病院
29	原田 慶	埼玉県	日本小動物がんセンター
30	原田 智	東京都	セラピスト動物病院
31	福山 泰広	神奈川県	鵜沼海岸どうぶつ病院
32	藤原 亜紀	東京都	日本獣医生命科学大学
33	保坂 創史	東京都	南大沢どうぶつ病院
34	村上 昭弘	神奈川県	センター南動物病院
35	山崎 裕毅	北海道	酪農学園大学
36	湯木 正史	愛知県	湯木どうぶつ病院
37	吉田 健二	千葉県	ファミリー動物病院
38	米地 若菜	奈良県	奈良動物二次診療クリニック
39	林宝 謙治	埼玉県	埼玉動物医療センター

（五十音順・敬称略）

なお、総会選出代議員（理事会推薦による）は本資料送付時点で理事会未決のため、社員総会当日にそのリストを提出する。

杉山：代議員 40 名のところ選挙選出代議員の立候補が 39 名となり、選挙を実施せずに 39 名全員が当選となった。今後は広く立候補を募り、選挙を実施したいと思っている。

小林：立候補の基準は？大学関係者と開業医のバランスは？ある一定の基準は？

杉山：5 月 1 日に正会員であること。法人として立候補に制限を設けることはできない。選挙活動として大学教員に声をかけるなどはできる。

小林：たとえば、学会経験が

海老澤：本来は、社団法人は会員は社員としての選挙権を持つ、3000 名の過半数がとれないと議決がとれなくなる。そのため代議員制度を設けている。会員がすべて平等に参加できないとなら

ない。本来は会員なら社員になれることが大原則であり、代議員に制限を設けることはできない。

杉山：ご意見は継続審議として、第 13 号議案の決をとります。

第 13 号議案の選挙選出代議員は、賛成多数により承認された。

総会選出代議員（理事会推薦による）は以下のとおりである。

伊東 輝夫
賀川 由美子
近藤 広孝
高木 哲
高平 篤志
中山 智宏
根本 有希
野村 耕二
水野 拓也
水野 累

第 13 号議案の総会選出代議員（理事会推薦による）は、賛成多数により承認された。

その他
なし

2023 年 7 月 2 日

議長（会長） 石田 卓夫 ㊟

議事録署名人 小山田 和央 ㊟

議事録署名人 長谷 往明 ㊟

議事録作成 杉山 大樹